

## 4. 研究活動

### ① 共同利用・共同研究の実施件数（進行中のものも含む）

共同利用・共同研究数（単位：件）	21
うち国際的な共同利用・共同研究数	8
うち共同利用・共同研究拠点としての実施件数	8
うち国内での共同利用・共同研究数	13
うち共同利用・共同研究拠点としての実施件数	13

### ② 共同研究課題採択一覧

研究代表者	研 究 課 題 名（21件）	センター内 共同研究者
中尾 亮	介卵伝播性時における共生菌—マダニ間のクロストーク解析	白藤 梨可
小柴 琢己	トキソプラズマ分泌性タンパク質群の宿主ミトコンドリアとの相互作用解析	西川 義文
荒木 球沙	可視化マラリア原虫を用いたオルガネラの三次元構造解析	河津信一郎
藤田 秋一	トキソプラズマにおけるオートファゴソームの微細構造と構成膜脂質のナノスケールレベルでの分布解析	玄 学南
杉 達紀	ポピュレーショントラックによるマウスでの潜伏感染に必要なトキソプラズマ原虫遺伝子の機能評価	西川 義文
田仲 哲也	分泌型フェリチン遺伝子ノックダウンによるフタトゲチマダニの胚発生に及ぼす影響	白藤 梨可
Morakot KAEWTH-AMASORN	Pathogenicity of the buffalo malaria parasites	麻田 正仁
鈴木 丈詞	カブリダニの卵形成の分子機構解明と人工飼料開発への応用	白藤 梨可
山岸 潤也	非固有宿主馴化バベシア原虫を用いた宿主域決定因子の同定	麻田 正仁
正谷 達膳	トキソプラズマのプログラム細胞死メカニズム解明に向けた研究	玄 学南
石崎 隆弘	Bar-seq を用いたウシバベシア原虫赤内期必須遺伝子の同定	麻田 正仁

Mark Carrington	Establishment transgenic manipulation of <i>Trypanosoma equiperdum</i> using of CRISPR/Cas9 and RNAi	菅沼 啓輔
成田 紘一	安全性の高いトリパノソーマ症新規治療薬の開発を目指したモンゴル国薬用植物由来 2,5-ジフェニルオキサゾール誘導体の合成と活性評価	菅沼 啓輔
吉川 泰永	ネズミマラリア原虫における Brca2 による雌ガメートサイトへの分化	福本 晋也
篠井 宏実	雄ハマダラカ-マラリア原虫易感染モデルによるベクターコンピテンシー制御機構の解明	福本 晋也
Jack Sunter	Deciphering trypanosome parasite tissue tropism and sequestration	菅沼 啓輔
Sanjay Kumar	Development of antigen detection rapid diagnostics for equine piroplasmosis	横山 直明
Daniel Sojka	The development of a DiCre recombinase-expressing strain of <i>Babesia</i> for the creation of conditional gene knockouts	河津信一郎 麻田 正仁
Phung Thang Long	Isolation and <i>In vitro</i> cultivation of <i>Babesia bovis</i> , <i>B. bigemina</i> , <i>Babesia</i> sp. Mymensingh, and <i>Babesia</i> sp. Hue-1 from cattle in Vietnam	横山 直明
Marvin Ardeza VILLANUEVA	Investigation on the presence of trypanocidal drug resistance used for water buffaloes in the Philippines	菅沼 啓輔
Zhe Hu	I International collaborative research on the diagnosis of Dourine between the NRCPD and HVRI OIE reference laboratories	菅沼 啓輔

### ③ 共同利用・共同研究の参加状況

区 分	令和3年度（単位：人）								
	機関数	受入人数				延べ人数			
		外国人	若手研究者(35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者(35歳以下)	大学院生		
学 内 (法人内)	8	46 (26)	17 (7)	35 (21)	13 (7)	963 (414)	532 (158)	756 (353)	383 (186)
国立大学	8	18 (5)	0 (0)	7 (3)	3 (0)	54 (20)	0 (0)	27 (11)	15 (0)
公立大学	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
私立大学	2	4 (1)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	7 (2)	0 (0)	4 (2)	4 (2)
大学共同利 用機関法人	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
独立行政法 人等公的研究機関	2	6 (3)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	6 (3)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
民間機関	3	4 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	4 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
外国機関	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	23	78 (36)	17 (7)	46 (27)	18 (8)	1034 (440)	532 (158)	789 (368)	402 (188)

※下段には女性研究者数（内数）

### ④ 学会誌、学術雑誌、国際会議等に掲載された論文数

区 分	令和3年度
論 文 数	78
うち国際学術誌に 掲載された論文数	78

### ⑤ 出版物の発行部数

出版物の名称	発行部数
The Journal of Protozoology Research	ホームページに掲載

### ⑥ 受賞状況

受賞者氏名	賞名	受賞年月	受賞対象となった研究課題名等
鈴木 宏志	第 114 回日本繁殖生物学会技術賞	R3 年 9 月	イヌの生殖工学技術開発に関する研究
水関実法子	第 67 回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会大会長賞	R3 年 10 月	重症複合型免疫不全マウスを用いた犬糸状虫ミクロフィラリア血症移植モデルの開発
河津信一郎	第 62 回日本熱帯医学会大会相川正道賞	R3 年 11 月	マラリア原虫の抗酸化タンパク質に関する研究

### ⑦ 研究者を対象とした研究会、シンポジウム等の実施状況

シンポジウム		講演会 セミナー		研究会 ワークショップ		その他		合計	
件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
2	66	0	0	1	14	2	74	5	154